

大平洋金属株式会社
2020年3月期 第2四半期決算説明会

2019年11月15日

当社ホームページ

<https://www.pacific-metals.co.jp/>

お問い合わせ先

総務部（IR担当）TEL:03-3201-6681



1. 経営環境について	
（1）LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移	4
（2）世界のステンレス生産とニッケル需給見通し	5
（3）地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し	6
（4）NPI（ニッケル銑鉄）生産の動向	7
（5）インドネシア産ニッケル鉱石の環境変化と当社の調達状況	8
2. 2020年3月期 第2四半期決算	
（1）第2四半期決算実績	10
（2）連結経常損益分析	11
3. 2020年3月期 通期見通し	
（1）通期決算見通し	13
（2）国別販売先の動向	14
（3）国別販売見通し	15
（4）連結経常損益分析	16
4. 中期経営計画「PAMCO-2021」の進捗状況	
（1）主な重点施策の進捗状況まとめ	18
（2）鉱石調達について	19
（3）ESGへの取り組み	20
（ご参考）中期経営計画「PAMCO-2021」と実績値（予想値）との比較	21

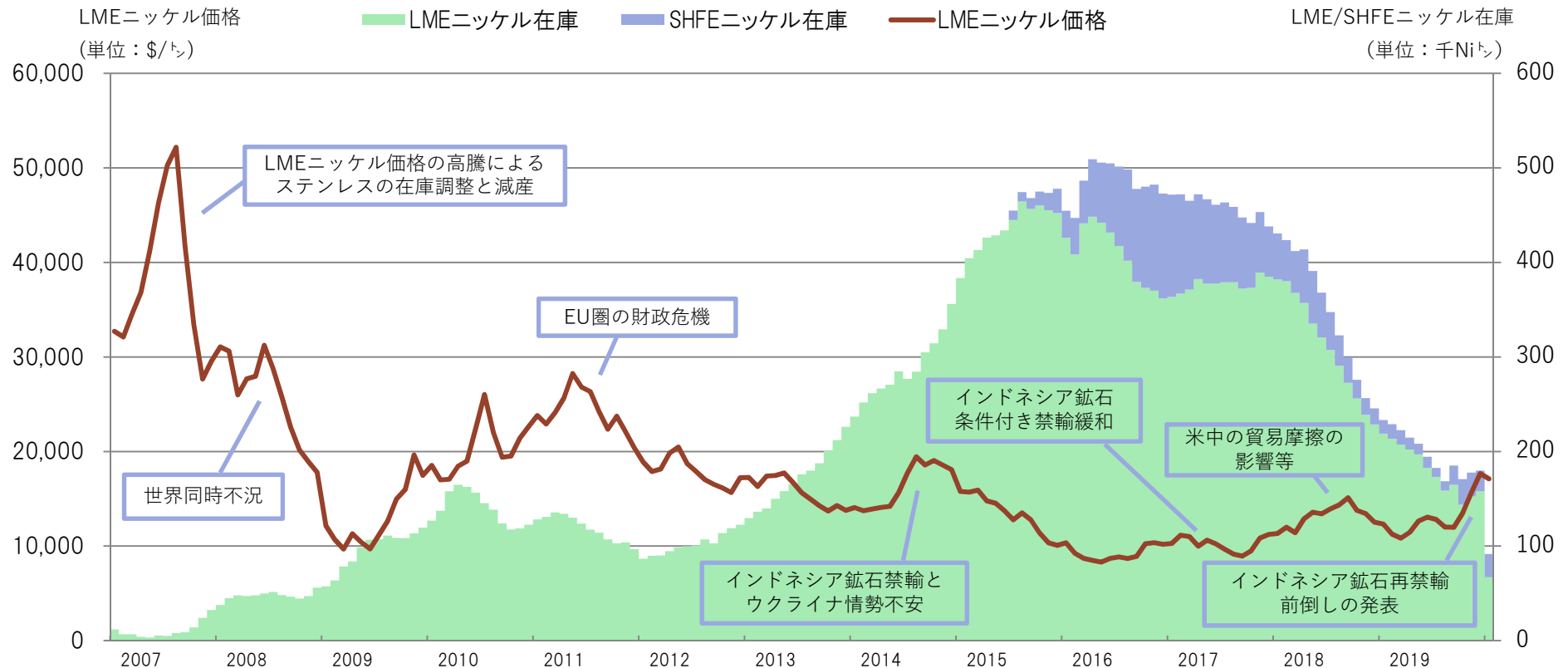
1. 経営環境について



1. 経営環境について

(1) LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移

※当社調べ



業績の推移	2008.3	2009.3	2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3
売上高 (百万円)	116,419	72,975	58,489	74,786	48,330	58,488	56,408	61,225	47,649	38,697	41,210	49,062
営業利益 (百万円)	52,250	16,168	11,774	18,494	153	2,168	△4,079	△7,787	△15,357	△3,070	△3,239	176
経常利益 (百万円)	56,314	18,387	13,440	20,767	3,524	4,920	△1,838	△91	△12,283	△515	△203	3,451

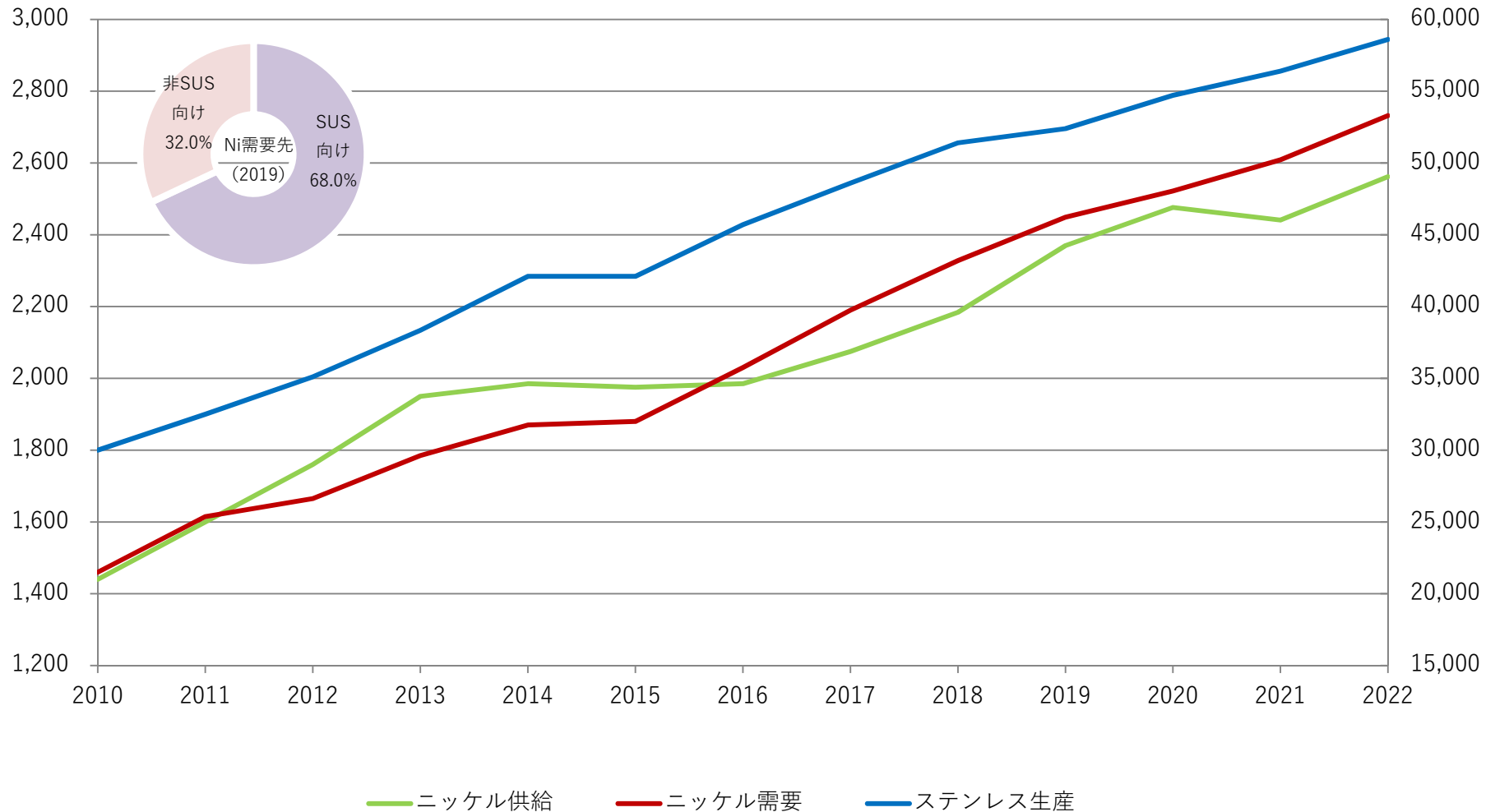
1. 経営環境について

(2) 世界のステンレス生産とニッケル需給見通し

※当社調べ

ニッケル需給 (単位: 千Niト)

ステンレス生産 (単位: 千ト)



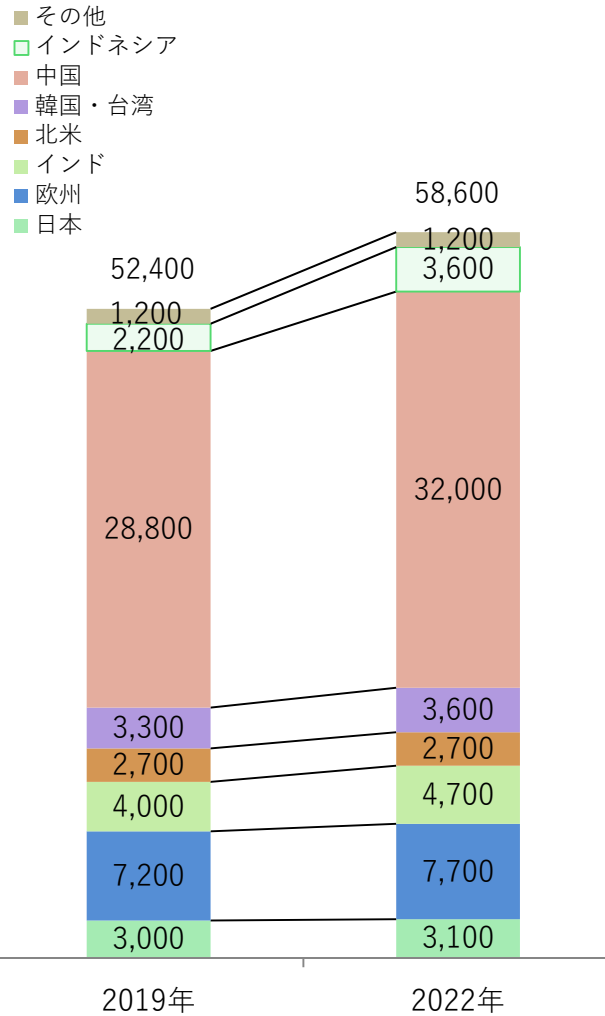
1. 経営環境について

(3) 地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し

※当社調べ

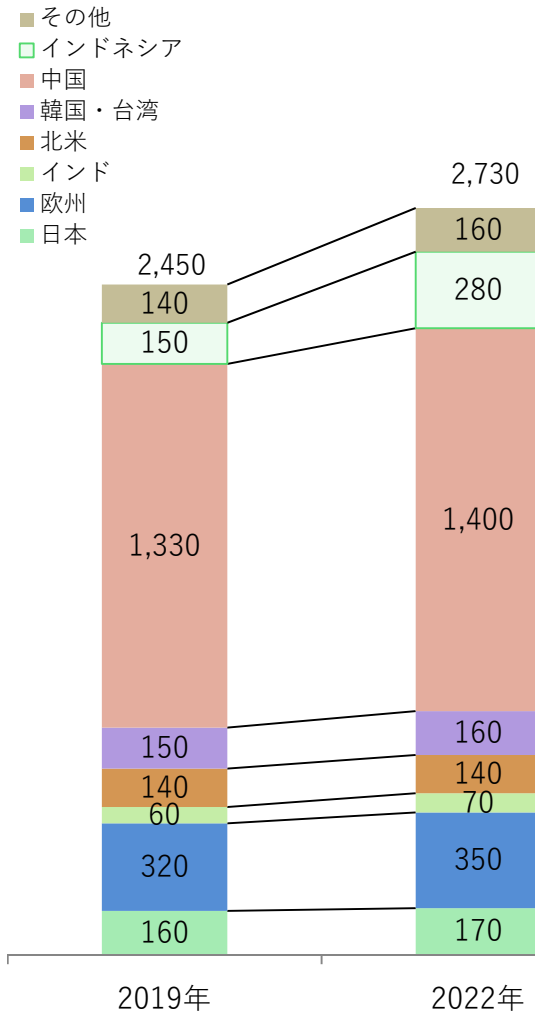
ステンレス生産見通し

(単位：千トン)



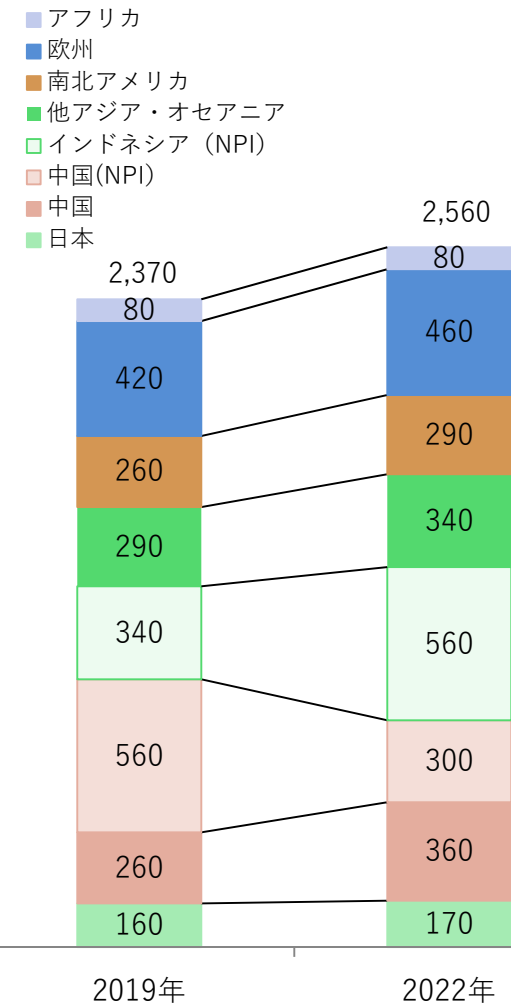
ニッケル需要見通し

(単位：千Niトン)



ニッケル供給見通し

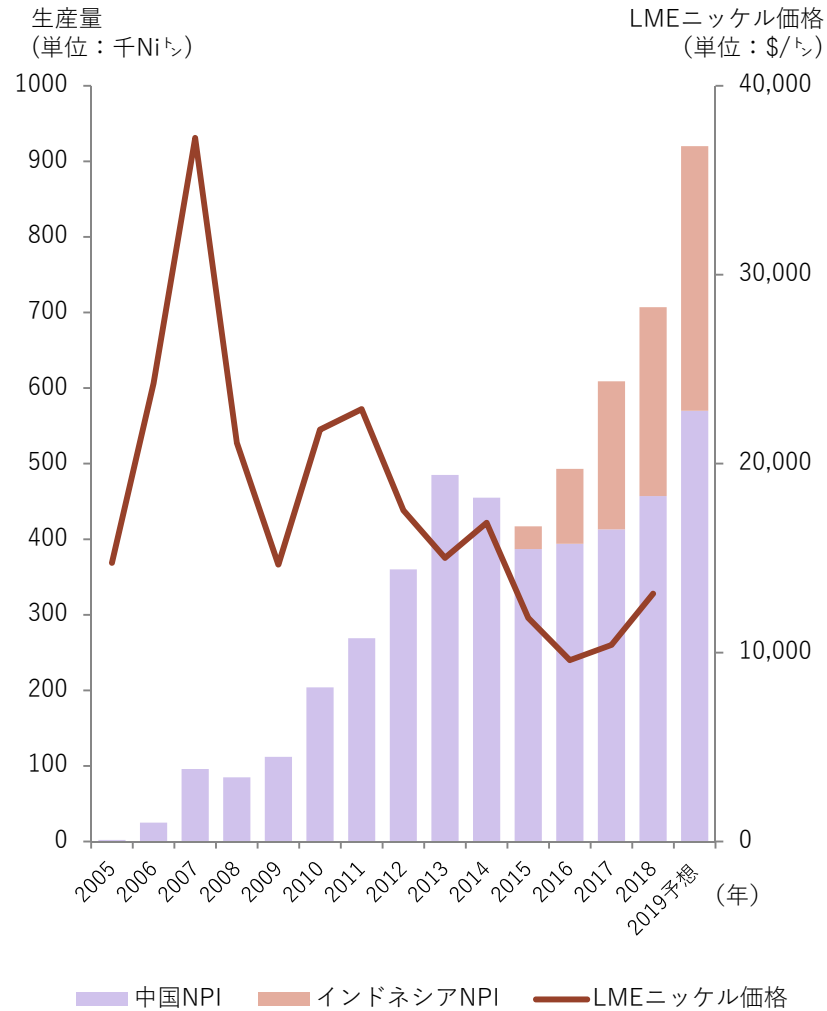
(単位：千Niトン)



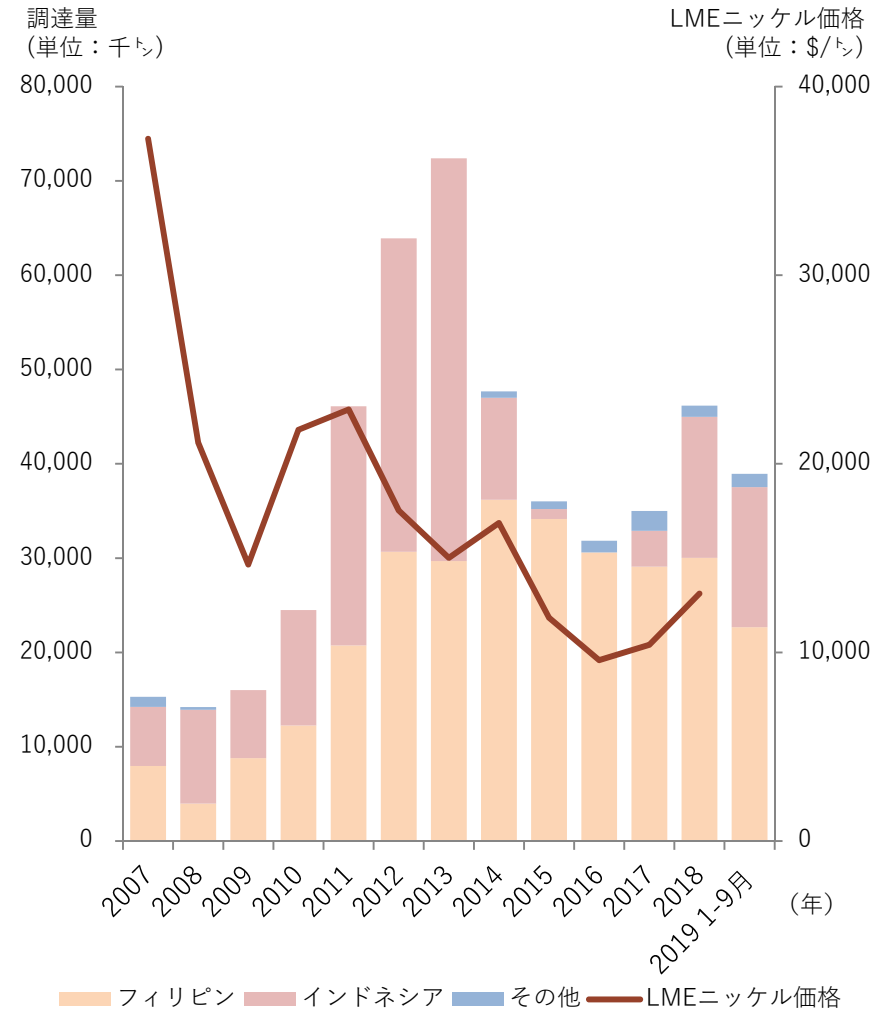
1. 経営環境について

(4) NPI（ニッケル銑鉄）生産の動向

NPI生産量の推移



中国のNi鉱石調達量の推移



(5) インドネシア産ニッケル鉱石の環境変化と当社の調達状況

	環境変化等	当社の調達状況
～2013年12月	<p>インドネシア鉱石禁輸以前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本・中国の競合メーカーは、インドネシアより約50%程度の鉱石を調達 	<p>禁輸以前の調達状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 禁輸以前より、調達先分散によるバランス重視の調達を継続 ・ 2013年度 当社の調達状況 インドネシア：42%、フィリピン：42%、ニューカレドニア：16%
2014年1月～	<p>インドネシア鉱石禁輸措置実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシア国内での付加価値化を目的とした禁輸 	<p>禁輸措置以降の調達状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシアからの調達分をフィリピンへシフト ・ フィリピン産鉱石価格は急騰 ・ ニューカレドニアからの調達増量
2017年1月～	<p>インドネシア鉱石禁輸緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5年間限定の条件付き緩和措置（当初期限2022年1月まで） 	<p>2018年度 当社の調達状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フィリピン：69% ・ ニューカレドニア：29% ・ インドネシア：2%
2020年1月～	<p>インドネシア鉱石再禁輸見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2020年1月より、ニッケル鉱石の輸出を前倒しして禁止するとエネルギー・鉱物資源大臣発表（2019年8月） 	<p>再禁輸以降</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2014年の禁輸開始当時から対応済み ・ 当面の調達数量には影響無い見込み ・ 鉱石の長期購入契約締結状況、調達割合・鉱石価格の見通し等の詳細は19ページへ

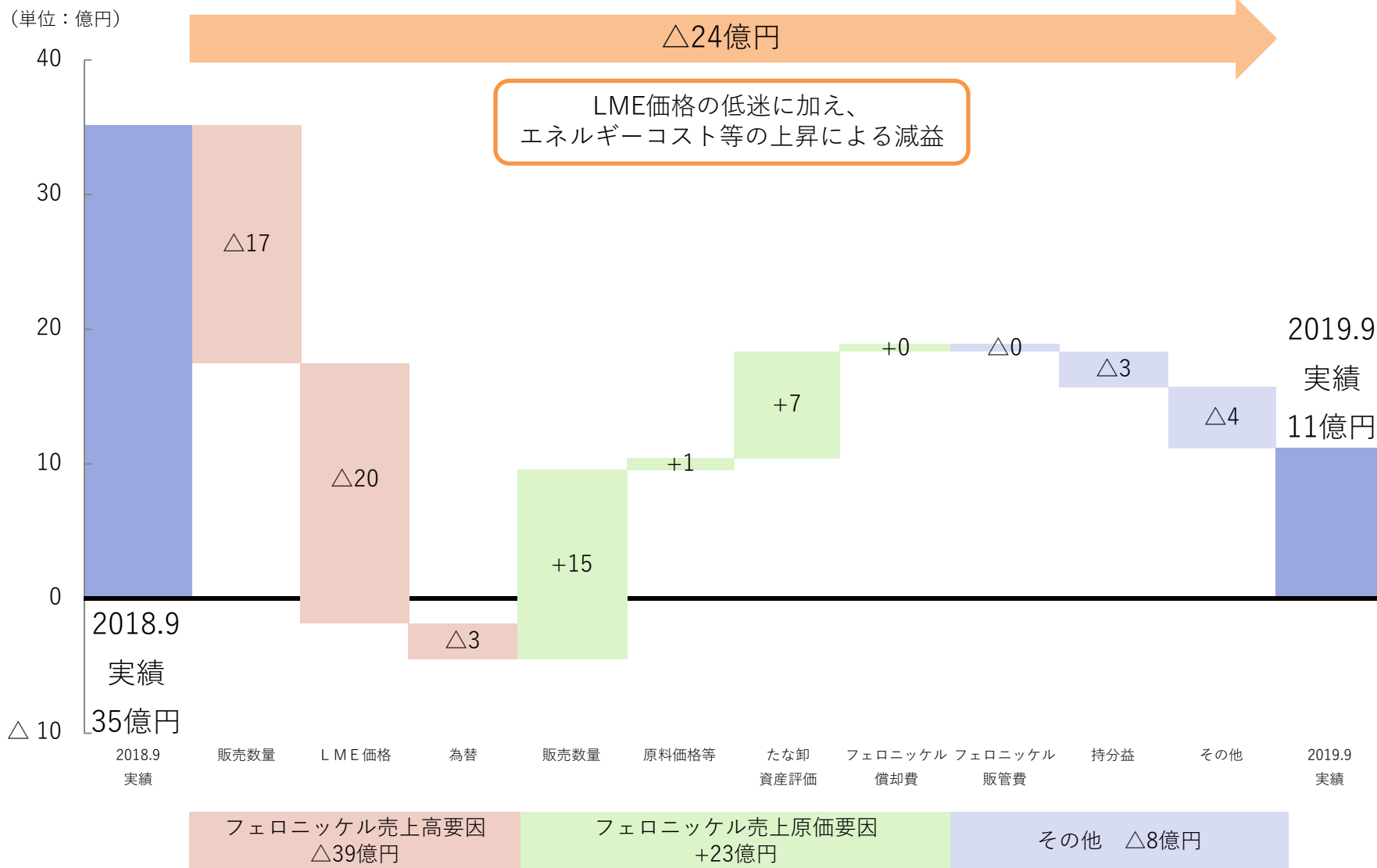
2. 2020年3月期 第2四半期決算



(1) 第2四半期決算実績

	2018.9 実績		2019.9 予想 (8/8発表)		2019.9 実績		対 前年同期比 (%)	対 8/8発表 予想比 (%)
	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)		
売上高	26,177	—	23,921	—	22,069	—	△15.7	△7.7
営業利益	1,856	7.1	△380	△1.6	164	0.7	△91.2	—
経常利益	3,513	13.4	749	3.1	1,122	5.1	△68.1	49.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,372	12.9	615	2.6	1,016	4.6	△69.8	65.3
(投資額)	45	—	—	—	132	—	193.3	—
(減価償却費)	154	—	—	—	159	—	3.3	—
	2018.9 実績		2019.9 予想 (8/8発表)		2019.9 実績		対 前年同期比 (%)	対 8/8発表 予想比 (%)
生産数量 (Niトン)		16,803		16,642		16,271	△3.2	△2.2
販売数量 (Niトン)		15,975		15,964		14,889	△6.8	△6.7
適用LME (\$/トン)		13,935		12,941		13,007	△6.6	0.6
[適用LME (\$/lb)]		[6.32]		[5.87]		[5.90]		
適用為替 (¥/\$)		109.81		109.45		108.52	△1.2	△0.8

(2) 連結経常損益分析



3. 2020年3月期 通期見通し

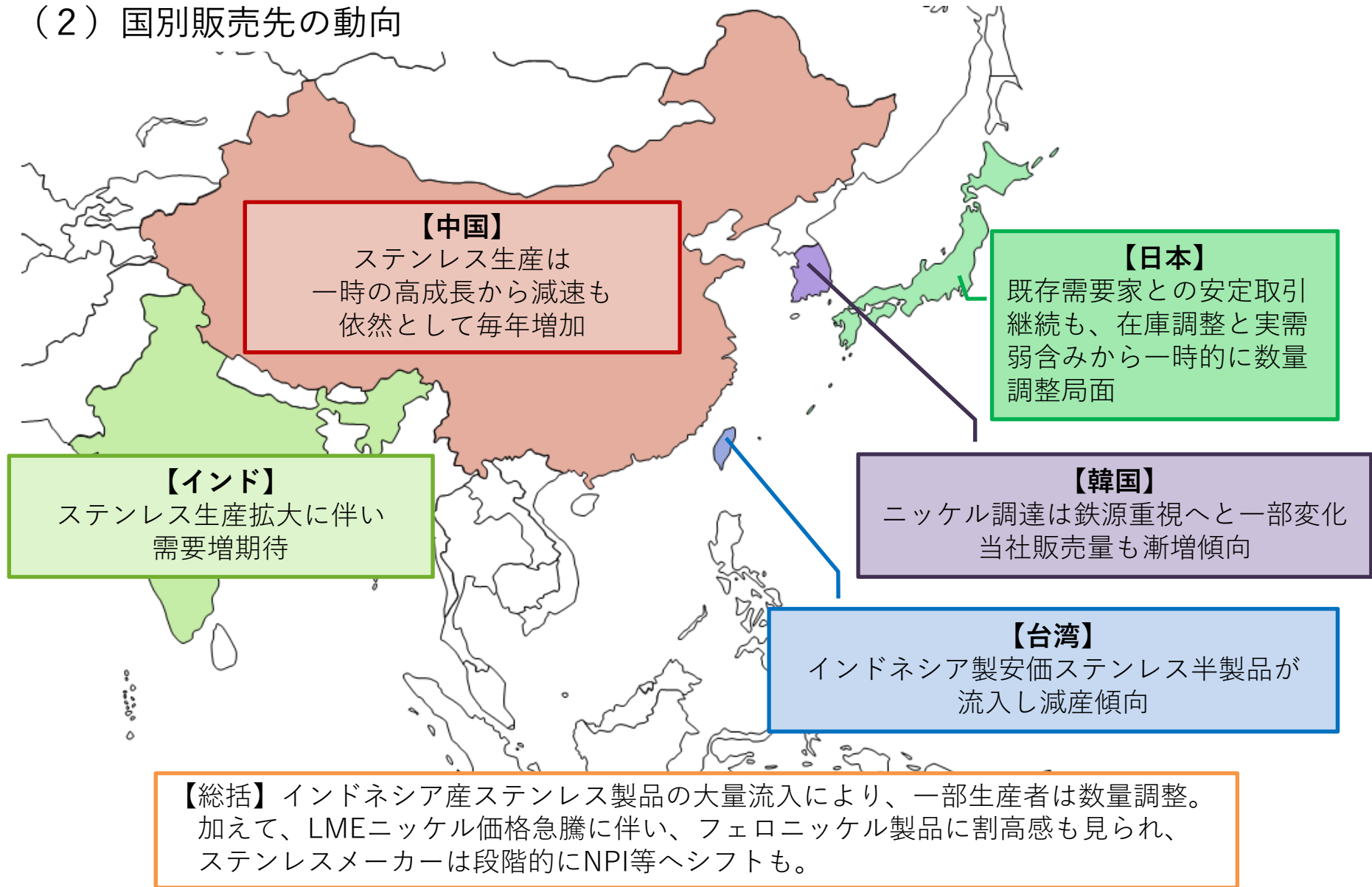


(1) 通期決算見通し

	2019.3 実績		2020.3 予想 (8/8発表)		2020.3 予想 (10/31発表)		対 前期比 (%)	対 8/8発表 予想比 (%)	トピックス
	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)			
売上高	49,062	—	50,258	—	47,155	—	△3.9	△6.2	■売上高 販売数量減に伴い、 減収見込み ■損益 ニッケル鉱石価格上昇 見通しも、 LMEニッケル価格の 上昇により一定程度の 利益確保見込み
営業利益	176	0.4	327	0.7	803	1.7	355.3	145.6	
経常利益	3,451	7.0	3,038	6.0	3,423	7.3	△0.8	12.7	
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,693	7.5	2,770	5.5	3,221	6.8	△12.8	16.3	
(投資額)	276	—	—	—	1,860	—	573.9	—	
(減価償却費)	307	—	—	—	340	—	10.8	—	

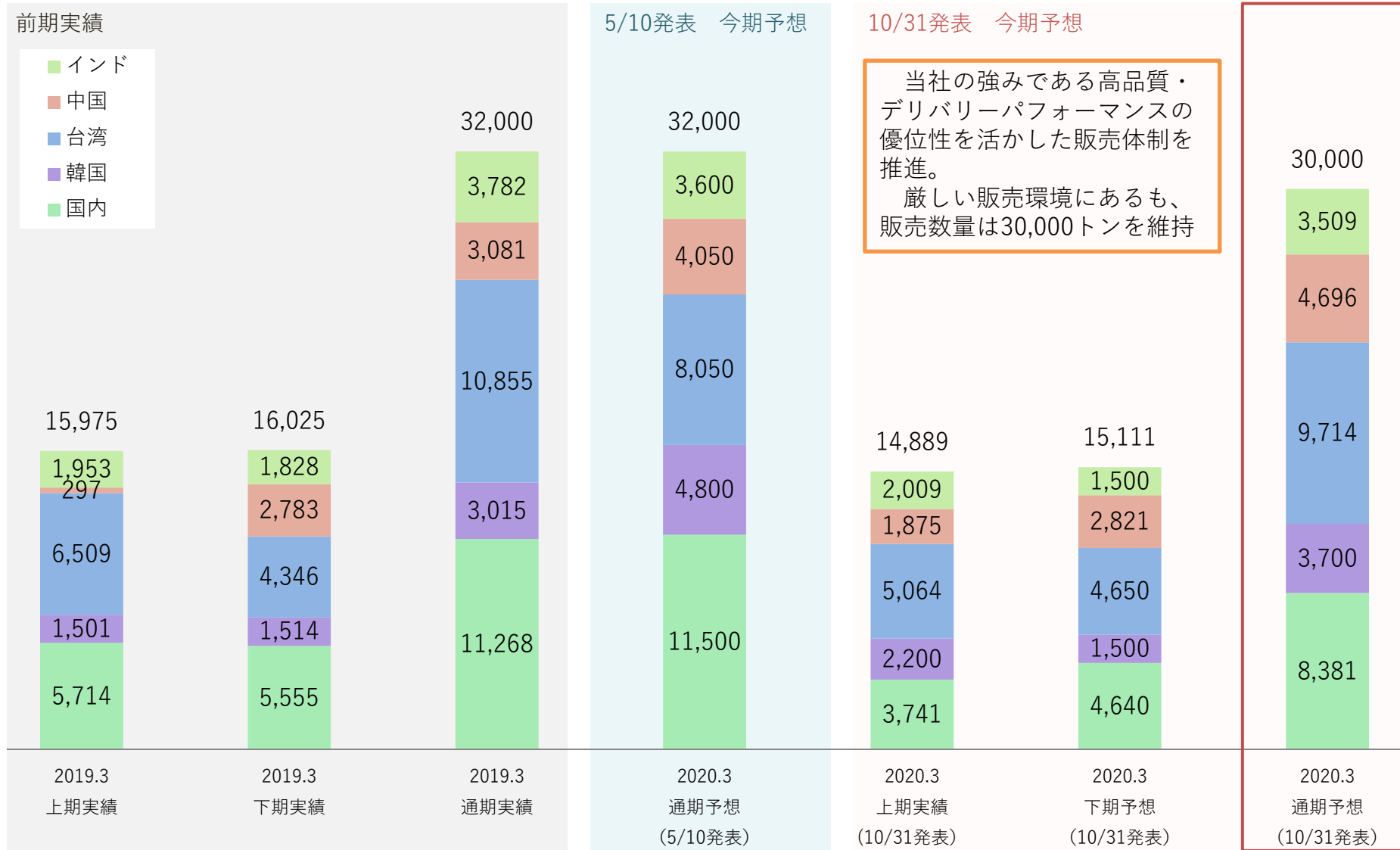
	2019.3 実績			2020.3 予想 (8/8 発表)	2020.3 予想 (10/31発表)			対 前期比 (%)	対 8/8発表 予想比 (%)	トピックス
	上期	下期	通期		上期実績	下期予想	通期予想			
生産数量 (Niトン)	16,803	16,703	33,506	32,521	16,271	15,556	31,827	△5.0	△2.1	■生産・販売数量 販売環境の急変に 対応し、顧客動向 等を踏まえ減販へ
販売数量 (Niトン)	15,975	16,025	32,000	32,000	14,889	15,111	30,000	△6.3	△6.3	
適用LME (\$/トン)	13,935	12,059	12,985	13,580	13,007	14,705	13,867	6.7	2.1	
[適用LME (\$/lb)]	[6.32]	[5.47]	[5.89]	[6.16]	[5.90]	[6.67]	[6.29]			
適用為替 (¥/\$)	109.81	111.24	110.53	109.59	108.52	109.33	108.93	△1.5	△0.6	

(2) 国別販売先の動向

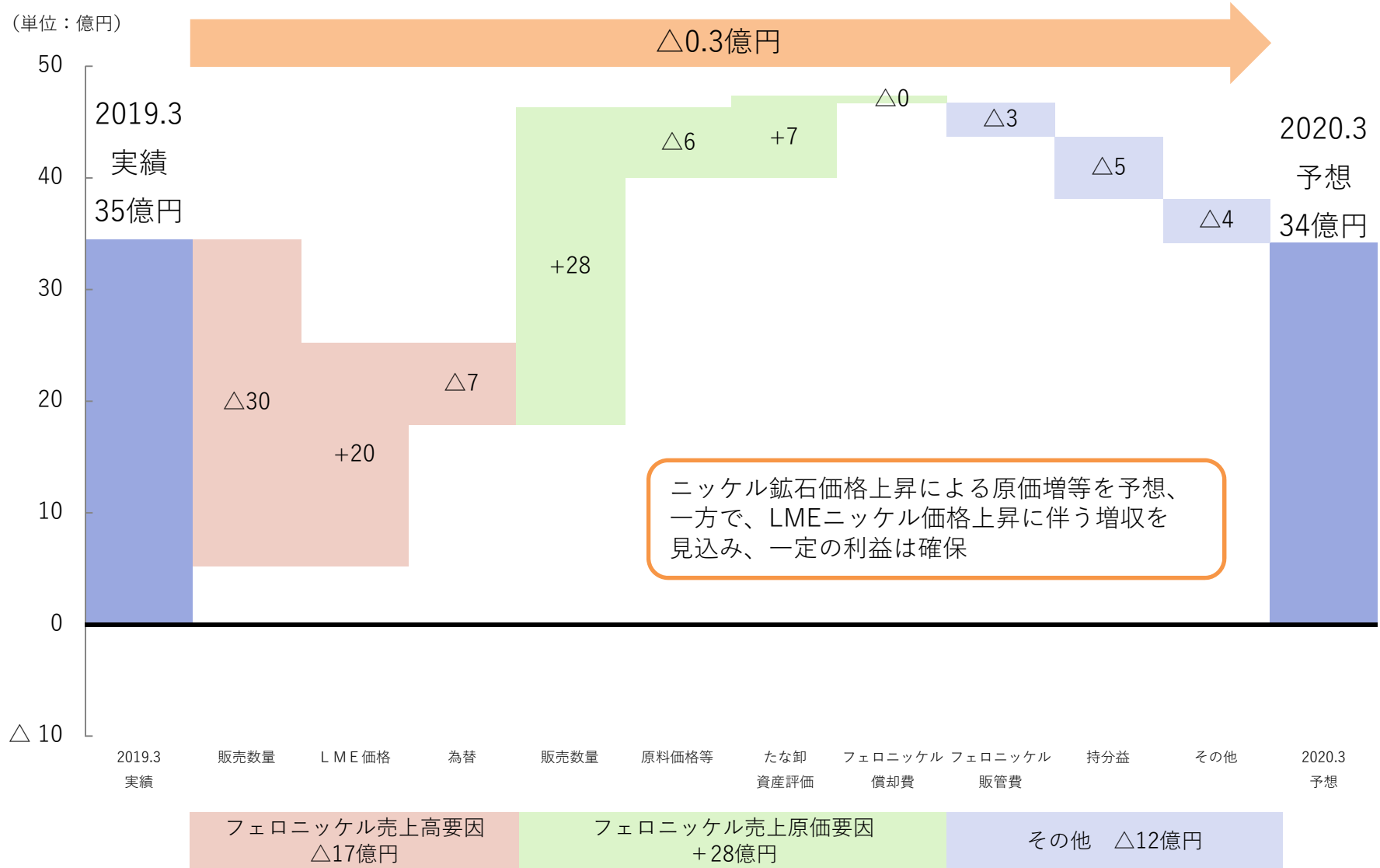


(3) 国別販売見通し

(単位：Niトン)



(4) 連結経常損益分析



4. 中期経営計画 「PAMCO-2021」の進捗状況



(1) 主な重点施策の進捗状況まとめ

① 最適生産体制構築のための「設備」の強化と「鉱石」の安定調達

- ・ニューカレドニア鉱石の調達比率拡大。
- ・ニッケル鉱石の新規調達先開発に向け、鉱山投資も視野に、複数のニッケル鉱区保有会社との交渉を実施中。

② 海外事業展開を視野に入れた取り組み

- ・海外製錬プロジェクトへの参画を視野に、パートナー候補との協議の実施および、事業可能性を検討中。

③ 国内事業の多角化（新規事業への取り組み）

- ・フェロニッケル製造過程に発生する副産物の新用途開発に向けた研究開発を実施中。
- ・リサイクル事業の拡大に向けた検討を実施中。
- ・新規事業参入のため多角的な視点からの検討を実施中。

④ 収益力の強化

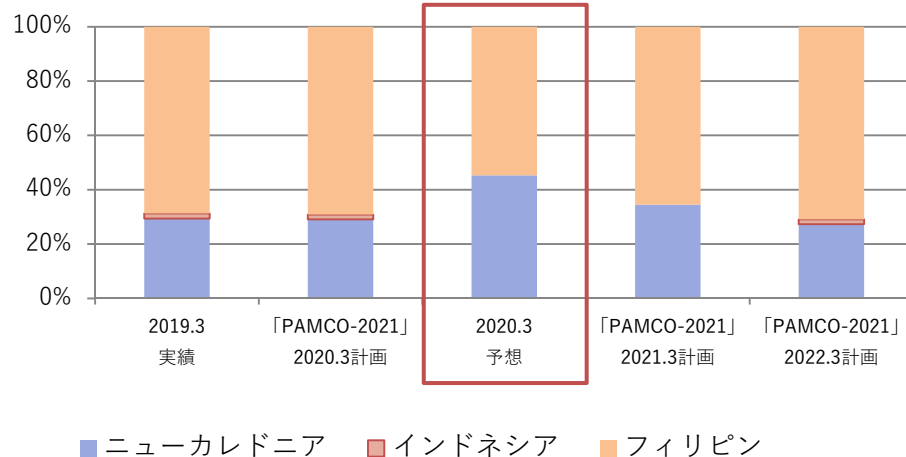
- ・AI/IoTの活用によるフェロニッケル製造コスト削減への可能性を追求中。
- ・業務構造の俯瞰的な確認により、IT化等の活用も含めた見直しに着手。

(2) 鉱石調達について

長期契約先	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3
■ リオ・チバ・ニッケル社 (36%出資)		【2019.7契約更新】 契約期間：2019.7～2023.12 (4年6カ月間)			
■ タガニート社 (33.5%出資)		【2019.7契約更新】 契約期間：2019.7～2023.12 (4年6カ月間)			
■ カグジャナオ社		【2019.7契約更新】 契約期間：2019.7～2023.12 (4年6カ月間)			
■ MKM社 (1)	契約期間：2014.1～2023.12 (10年間)				
■ MKM社 (2)	契約期間：2016.1～2025.12 (10年間)				
■ モンタニア社	契約期間：2016.4～2026.3 (10年間)				

■ フィリピン ■ ニューカレドニア

調達割合



ニッケル鉱石価格について

- ・2014年のインドネシア禁輸の影響により、禁輸前の価格と比較すると禁輸後は最大約4倍程度の上昇であった。
- ・足下の環境は2014年インドネシア禁輸当時と異なり、中国資本によるインドネシアでのニッケル生産が順調であることから、中国勢によるニッケル鉱石の購買意欲は以前ほどは旺盛ではないと見込まれ、2020年3月期(通期見通し)でのニッケル鉱石価格は、2014年禁輸前と比べ約2倍程度の上昇を予想。

(3) ESGへの取り組み

環境 Environment

- フェロニッケルスラグの全量リサイクル化による循環型社会への貢献
- 省エネ設備への改良及び高温排ガス再利用による省エネルギー対策の推進
- 排水終末処理による水質汚濁防止対策と排水の再利用

社会 Social

- 東日本大震災被災地へのフェロニッケルスラグ土木資材の供給
- 地元サッカークラブチームへの協賛、地域活性化活動への参加による地域社会との共生
- 工場周辺や地域の清掃活動の実施

ガバナンス Governance

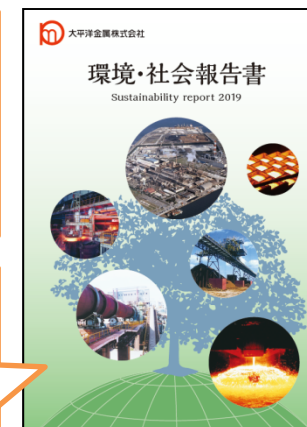
- コーポレート・ガバナンスの充実・強化
- 統合マネジメントシステム（IMS）の活用による法規制遵守

2020年3月期
第2四半期
トピックス



当社所有土地（青森県八戸市）を、地元J3サッカーチーム『ヴァンラーレ八戸』の練習場としてかねてより賃貸。
2019年7月、当該練習場の命名権（ネーミングライツ）を取得。
施設名称『PAMCOフィールド』

2019年11月、『環境・社会報告書2019』を発行。
(<https://www.pacific-metals.co.jp/environment/report.php>)



すべてのステークホルダーの信頼に応えるため、事業活動を通じて社会・地域の課題解決に貢献しながら、新たな価値を創出し、持続可能な社会の実現を目指す

(ご参考) 中期経営計画「PAMCO-2021」と実績値(予想値)との比較

「PAMCO-2021」期間 計画値 (2019年5月10日発表)	(単位:金額 百万円)	2020.3 計画	2021.3 計画	2022.3 計画
	生産数量 (Niトン)	33,000	29,000	32,500
	販売数量 (Niトン)	32,000	31,500	32,000
	適用LME (\$/トン) [\$ /lb]	13,691[6.21]	14,330[6.50]	14,837[6.73]
	適用為替 (¥/\$)	109.72	109.73	109.72
	売上高	50,816	51,872	55,097
	営業利益	391	△271	2,650
	経常利益	3,136	2,377	5,340
	親会社株主に帰属する当期純利益	2,872	2,020	4,876
	投資額	1,887	4,688	4,132
減価償却費	330	408	515	

「PAMCO-2021」期間 実績値(予想値)	(単位:金額 百万円)	2020.3 予想 (2019年10月31日発表)		
	生産数量 (Niトン)	31,827		
	販売数量 (Niトン)	30,000		
	適用LME (\$/トン) [\$ /lb]	13,867[6.29]		
	適用為替 (¥/\$)	108.93		
	売上高	47,155		
	営業利益	803		
	経常利益	3,423		
	親会社株主に帰属する当期純利益	3,221		
	投資額	1,860		
減価償却費	340			



大平洋金属株式会社



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。
